

学校をひらく 「誰もが野球見られる」 どう達成

東京芸術大学教育インキュベーションセンター長・教授 金子嘉宏さん

この問題は著作物の関係により、掲載できません。

出典) 朝日新聞 2025 年 9 月 10 日朝刊

令和 8（2026）年度 学校推薦型選抜（指定校）

文学部 教育学科

試験科目：教育に関する課題文

◆出題の意図

教員養成を主たる目的としている教育学科では、専門的な教育学の知識に基づき自分の経験や身の回りの事象の中から、子ども、学校、教育というようなキーワードに関する課題を見出し、自身の考えを明確にできる力の育成を目指している。このような観点から 2026 年度学校推薦型選抜においても課題文として教育における公平（equity）に関連する新聞記事を選択した。

この記事の筆者が考える「学校に求められているもの」や、文中の「誰もが社会で活躍でき、つきたい職業につくためのスタート地点に立てるよう必要な学習内容を身に付ける」ことを実現させるために、現在の学校教育にはどのような課題があるのかを、自身の体験や記事中の図表を参考にして具体的に考えられる力の有無を評価する。また、「個別最適化」が提唱されている学校現場では、公平（equity）を実現するためにどのようなことに留意しなければならないかについての各自の考えも評価の一部とする。